

Rotary



世界に希望を生み出そう

Weekly Bulletin Vol.68 No.27 2023-2024 RI会長 ゴードンR.マッキナリー 泉大津ロータリークラブ(創立1956.5.4)

週報 第3235回

会長 上田 秀朗 副会長 渡辺 万寿
幹事 西田 佳郎 SAA 西端 政博



例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2024年2月16日) 第3235回

■ プログラム

特別卓話 大阪府議会議員 大橋 一功 様

■ 次週のプログラム

2月23日: 定款の規定により例会休会

■ 今後の予定

- ・3月1日: 卓話担当 八木 秀富 会員
- ・3月8日: 卓話担当 藪野 信 会員

■ 祝 誕生日

根尾 玲子(25日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は	楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ	お話しましょ
昔 昔よ	燃えろよペチカ

■ 先週の例会



会長の時間 上田 秀朗 会長

皆さんこんにちは、今日はこの本、「嫌われる勇気」のご紹介です。岸見一郎、古賀史健共著で、(自己啓発の源流「アドラー」の教え)という副題がついています。2013年の発売以276万部も売れ、今では世界各国で翻訳され、続編とシリーズを含めると実に900万部も売れ、売れに売れているとっていいでしょう。また2017年には大胆アレンジされ、刑事ドラマとしてTV放送もされています。

この本は、フロイトやユングと並ぶ心理学の三大巨頭の一人、アルフレッド・アドラーの心理学を哲学者と青年

の対話形式でわかりやすく解説しています。例として取り上げるものも身近なものが使われています。まあ、読みだすと面白くて一気に読み切れます。またいくつもの対話で構成されているので、ひとつひとつ読み進めることもできます。

少し、この本の内容とアドラー心理学を解説していきます。私たちの人生の悩みの原因は対人関係だ、とアドラーは言い切ります。他人から認められ、嫌われない生き方は不自由極まりないものであるため、対人関係の問題を解決し、その悩みから解放されるには「嫌われる勇気」を持つというのです。

まず、アドラー心理学では、すべての結果に対し、原因ではなく、目的を考えます。例えば引きこもっている人がいるとすると、過去の両親の虐待やいじめといった原因ではなく、「『外に出ない』という目的が先にあって、その目的を達成する手段として、不安や恐怖といった感情をこしらえている」と考えます。酷ないい方ですが引きこもりは、ある意味目的が達成されている状態とみるのです。今の目的にかなう経験を過去の記憶から探して、トラウマにしているにすぎないというのです。

また私たちは現実をありのままにみているのではなく、現実を自分で解釈したものを経験しているに過ぎないのです。ですからその解釈を変えれば、現実は違ったものになるということになります。したがって人生がうまくいっている人とそうでない人とは、世界の見え方は全く違うということにもなります。性格や気質も、おおよそ10歳ぐらいに自分で選び取ったものとされ、「ライフスタイル」と呼び、リセット可能だというのです。

私自身はここまで読むとずいぶん気が楽になりました。そうか、他人から嫌われないように「承認欲求」ばかりを気にすると、結局は自分の人生を生きることにならないのだ。要は一步前へ踏み出す「嫌われる勇気」があるか否かなのだと。

しかしアドラーは、自分の思いどおり勝手気ままにふるまって、他人に迷惑をかけていいといっているのではありません。あらゆる対人関係のトラブルは、自分の課題に踏み込まれたり、他人の課題に踏み込むことによっておこると考えられ、どちらもしないさせない「課題の分離」が必要だとも言っています。

自分は自分他人は他人という唯我独尊的な生き方をし

て、世の中成り立っていくのか少し心配になりますが、それに対しアドラーは、他人を仲間として信頼する「共同体感覚」を提案します。それは上下関係、例えば上司と部下といった縦の関係ではなく、「同じではないけど対等」という横の関係だといえます。そして「承認欲求」など気かけずに、「私は相手に何をやって与えられか」という「貢献感」が大事だということです。ここまで言うことやユートピア的感さえあります。

ただ皆さんが何かの壁にぶつかってへこんでいるときに、自分を再編成し、もう一度チャレンジをする為の「勇気づけ」をくれる本であることは確かだと思います。それゆえに多くのロータリアンにも読まれています。それではこの本の中から心に刺さる名言を3つご紹介しましょう「大切なのは何が与えられているかではなく、与えられたものをどう使うかである」(P44)

「他者からの承認を求め、他者からの評価ばかりを気にしていると、最終的には他者の人生を生きるようになります」(P135)

「人生は連続する刹那なのです」(P264)

甚だ不十分ではありましたが、本日の会長の時間は「嫌われる勇気」をご紹介しました。「お前の話は中途半端や」とお思いの方は、是非とも卓話でチャレンジしてみてください。そういう「嫌われる勇気」は大いに歓迎します。本日はこれまで。

幹事報告

西田 佳郎 幹事

- 本日皆様のメールボックスに、抜萃のつづりとシンガポール国際大会のご案内を入れさせていただいております。
- 各テーブルには、次年度のロータリー手帳のご案内を置いておりますので、ご入用の方は事務局までお願い致します。
- 来週の16日(金)は、午後6時からくすの木の間にて、家庭集会を行いますので関係者の方はよろしくお願い致します。

委員会報告

メールボックスに、泉大津ロータリークラブ同好会イベント開催のご案内を入れさせていただきました。今回はウォーキング同好会と日本酒同好会の合同企画でございます。タイトルは「桜咲く灘の美術館と酒蔵巡りウォーキング」ということで、日付は3月24日(日)、10時00分(阪急電鉄・御影駅)集合【※8時20分 泉大津駅集合】です。募集人数は先着順で最大20名となりますので、お早めに申込書を事務局までFAXしていただきますようよろしくお願い致します。(細川 嘉則 同好会幹事)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/9	38名	6名	—	86.36%
1/26	36名	8名	3名	88.64%

■ メークアップ

榎本(2/5 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
前山(2/2 理事役員会)
丹農(2/7 和泉RC)

■ ニコニコ箱

- ・今井さん、本日はよろしくお願ひします(上田)
- ・今井委員長、本日はクラブフォーラム宜しくお願ひ致します(西田)
- ・今井委員長、本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします。山本様、シビレさせてすみません。又、お願ひします。ありがとうございました(西端)
- ・誕生日祝ひありがとうございました(藤野)
- ・昨夜、西端くんにいじめられました。ありがとうございました(山本)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・早退のお詫び(深井)

ニコニコ箱合計	14,000円
累計	453,500円

■ お誕生日



寺田 敏也 会員(13日)
山本 博章 会員(15日)

先週のプログラム

会報 IT 委員会 クラブフォーラム



今井 克範 会報・IT 委員長

会員IT委員会のクラブフォーラムです。よろしくお願ひします。

今期の会報IT委員会では、活動計画書を改めてお伝えいたします。

主に例会運営の広報としてのサポート、週報原稿の取りまとめ、会報誌「ロータリーの友」の内容紹介、泉大津ロータリークラブのホームページを通しての広報活動を中心として、例会運営時のIT関係のサポートも含めて、クラブ運営に関する広報、業務的サポートを実施します。特に今年は、公開例会を開催するにあたり、広報・IT関係のサポートを実施します。

【活動計画】

- ・例会時等での写真撮影担当
- ・例会時の原稿データのとりまとめ
- ・例会時に「ロータリーの友」のトピック紹介
- ・泉大津ロータリークラブのホームページの広報担当としての更新
- ・例会時等での通信、IT関係の設営設定サポート
- ・ホームページ、SNSを通じたクラブ活動の広報活動となっています。主には毎例会時の写真撮影を役割としながら、今季は公開例会での写真、動画撮影、ロータリーの友への投稿など新たな役割も担うことができました。

ロータリークラブ全体として、会報IT委員会では役割としてクラブの沿革や目的、活動内容を広く情報発信することで会員増強支援をおこない適正な組織運営に貢献します。とあります。泉大津ロータリークラブは、対外的な広報媒体としてホームページやフェイスブックページがあります。ホームページやフェイスブックページを記事など随時投稿していくことで広報活動になっていきます。毎週の週報は、ホームページでもアップされますので、泉大津ロータリークラブの活動を随時誰でも知る事ができています。しかし、正直にお伝えさせてもらいますと、広報活動としての記事投稿などはほとんどできておりません。これはフェイスブックページでも同様ですので、当クラブの課題として共有認識させてもらいます。

昨年のクラブフォーラムでは、クラブ全体としてマイロータリーの登録促進を兼ねて、その場で登録する作業を行なりましたが、今年は、マイロータリーに登録していない方は、是非これを機会に登録していただき、新入会員の皆さまには、この媒体を知ってもらいマイロータリーの登録をお願いします。不明な点があれば、会報IT委員会にお問い合わせください。

マイロータリーの100%登録を目指しているわけですが、マイロータリーを使用していない方がほとんどだと思いますので、今日は、マイロータリーのサイトの内容を一緒にみていこうと思います。マイロータリーには色々な情報が発信されています。行動するの分野では、クラブの目標やグローバルサマリーなど世界での行動に対

する目標とその達成割合について具体的に表示されています。クラブの目標としては、主に4つの項目に対して目標を立てることができます。参加者の積極的な参加を促す、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、適応力を高める、の項目が目標テーマになっています。

クラブの目標に関連したデータと傾向や、クラブとしての奉仕活動を表記することができます。そしてその活動に対する管理ができるようになっていきます。これは、当クラブの閲覧だけではなく、世界のクラブの活動の内容やその管理状況も閲覧でき、日頃ロータリーの友でしか、各クラブの活動状況、傾向を知ることができ、活動に対する参考にすることができるようになっていきます。

あと、このマイロータリーでは、寄付金をサイトから直接財団へ行う事ができ便利に活用できるようになっています。また、入会の紹介ということで、自ロータリークラブに入会を推薦する場合は、直接行うことができますが、例えば、遠方の地域のお知り合いが地元のロータリークラブに入会を希望したときに、このマイロータリーを通じて、地域のどのロータリーが合っているのかをマッチングした感じで、紹介してもらえる仕組みになっているので、より全国レベルで会員を増やしていく貢献もできるようになっています。

このような、マイロータリーは使いこなすことを目的としているので、今後、当クラブもマイロータリーの登録を100%達成し、そしてマイロータリーを使いこなしていくクラブとして運営できていくことを期待して、今回のクラブフォーラムを通して共有させて頂きました。ありがとうございました。